



CYME 電力回路網エディタ

この回路網エディタは、CYME 解析モジュールのベースとなるグラフィックユーザーインターフェースです。電力網の単線結線図の非常に柔軟な作図、ならびに表示とレポートをカスタマイズするための豊富なオプションを提供しています。

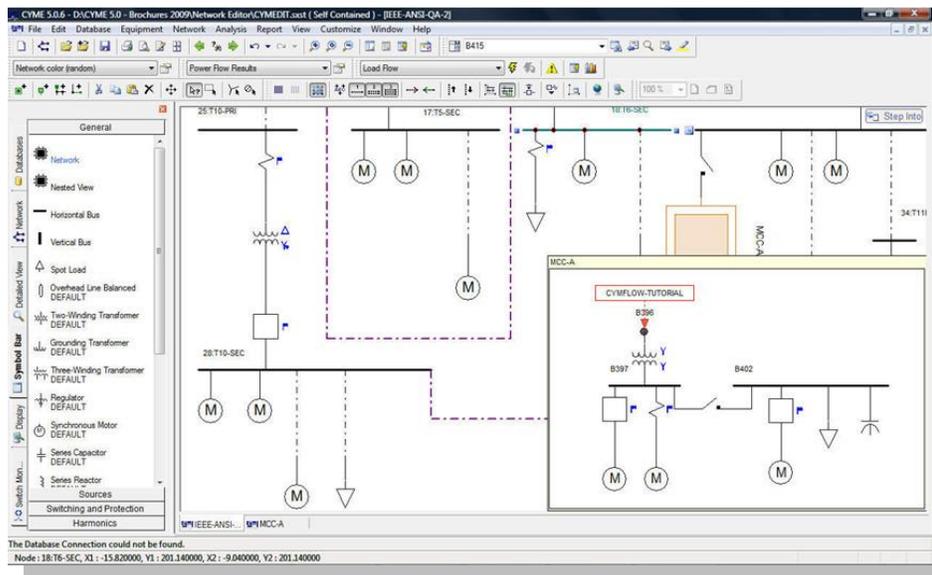
CYME 回路網エディタは、業界で、最もユーザーフレンドリーで強力なエンジニアリングツールの1つと言えます。

プログラムの特徴

最先端のグラフィックユーザーインターフェースに加えて、このソフトウェアプラットフォームには、現場で実証された解析機能の数々が組み込まれています。CYME の解析機能のメニューは、非常にユーザーフレンドリーなインターフェースとして、オンラインのコンテキストヘルプとともに提供されます。

- 単線結線図の外観をカスタマイズできる表示オプション
- 内蔵のキーワードによる単線結線図の結果、レポート、および結果タグのカスタマイズ
- ワークスペースにページレイアウトの概念を導入することで、いかなる用紙サイズにも印刷可能

- ネットワーク装置には独自の接続ポートがあり、母線またはノードに接続する前に、ワークスペースにドラッグ&ドロップが可能
- 複合タイプと指数タイプの両方からなる需要家の負荷モデルライブラリ
- 機器データベースとネットワーク装置の設定に対する“ツリービュー”
- 保護装置の拡張表現
- 複数回の Undo・Redo 機能
- 標準の直交以外の接続が可能で中間ノード
- 改良型のグリッドスナップ機能



プログラムの特徴（続き）

- 入れ子型ネットワークの表現
- プロパティとコマンドのグループ化
- ケーブル、導体、発電機、電動機など、各種機器の広範なデータベース
- 誘導電動機、同期電動機、発電機など、あらゆるタイプの電気機器のパラメータ推定機能を内蔵するデータベースマネージャ
- ユーザー定義の幾何学的な線路間隔に基づく、送電線の正相および零相インピーダンス計算
- 地中単芯/三芯ケーブルのインピーダンスパラメータの計算（シースまたは地帰路）

- ユーザー定義のシンボルライブラリを作成できるネットワークシンボルエディタ
- 内蔵データベースとネットワーク接続変換プログラムを介した既存 PSAF スタディファイルのインポート
- AutoCAD® 図面ファイルをインポートし、回路図を描くための背景マップとして使用
- レポートの Excel® または Internet Explorer® へのエクスポート

CYME プログラムには、ユーザーがソフトウェアの機能とカスタマイズ法を習得するための実践的な例題集が付属しています。これらの例題集には、必要なドキュメントと対応する自習用ファイルも含まれています。

The image displays three overlapping screenshots of the CYME software interface:

- Top Left:** A 'Section Properties' dialog box for an 'Induction Motor - At Middle'. It shows parameters like 'Starting Assistance (HSA)' type set to 'Soft Starter - Voltage Ramp with Selectable Kickstart'. A graph shows the voltage ramp profile with 'KICKSTART' phase. Parameters include Ramp Time (30.0 s), Initial Torque (40.0 %LRT), Kickstart Time (3.0 s), and Kickstart Torque (80.0 %LRT).
- Top Right:** A 'Bus' configuration dialog box with 'Format' and 'Options' tabs. The 'Format' tab shows settings for 'Bus' text, including font, size, alignment, and background color.
- Bottom:** A main software window showing a power flow diagram. A table displays power flow results for buses 1 through 5, including voltage (V), phase angle (deg), real power (MW), and reactive power (MVAR). A 'Load Flow Size' dialog box is also visible, showing a summary of the power flow calculation.